

岡山市の財政状況

水と緑が魅せる心豊かな
庭園都市おかやまをめざして

2011年10月27日 合同IR 説明会資料

目次

i	岡山市のすがた	・・・2	iv	めざす都市像	・・・19
■	岡山市の概要		■	都市ビジョン『新・岡山市総合計画』	
■	都市機能		■	平成23年度一般会計当初予算	
■	産業別構成比率(事業所数)		■	主要な施策	
■	生活環境				
■	将来推計人口		v	市債発行の方針	・・・27
ii	行財政改革	・・・8	■	今後の起債運営	
■	行財政改革の目標		■	市場公募地方債の発行	
■	これまでの行財政改革				
iii	財政状況	・・・11			
■	平成22年度普通会計決算				
■	職員数の削減と適正化				
■	市全体の借金				
■	財政指標の推移				
■	健全化判断比率等は基準をクリア				

i 岡山市のすがた

- 岡山市の概要
- 都市機能
- 産業別構成比率(事業所数)
- 生活環境
- 将来推計人口



岡山市の概要

■ 人口

701,264人 (H23.8末現在)【住民基本台帳人口及び外国人登録人口】

■ 面積

789.91km²

■ 自然

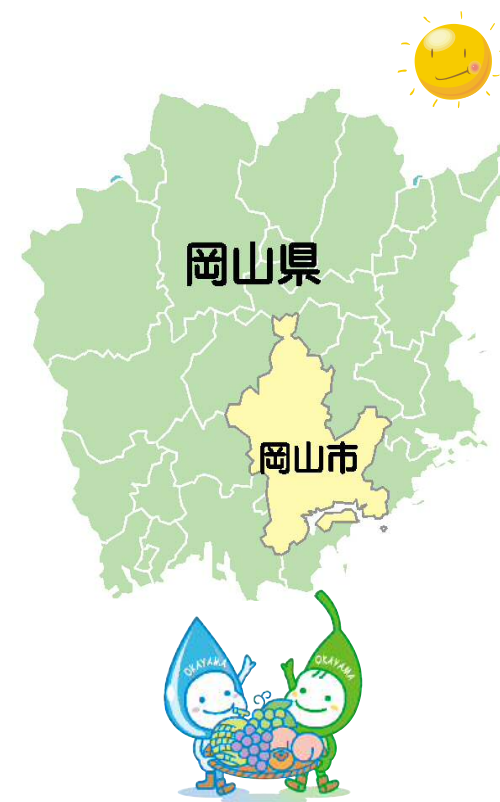
旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置
南部は地味豊かな沃野、北部は吉備高原につながる山並み

■ 気候

温暖な瀬戸内海特有の風土
快晴の日が多く、台風や雪の影響が少ない

■ 名産

「果物王国」岡山市は、白桃・マスカットなどの果物が揃い、南部の瀬戸内海では鯖やママカリなどの海の幸が育まれます



都市機能

中国・四国・近畿を結ぶ交通結節点 — 充実した広域高速交通網 —

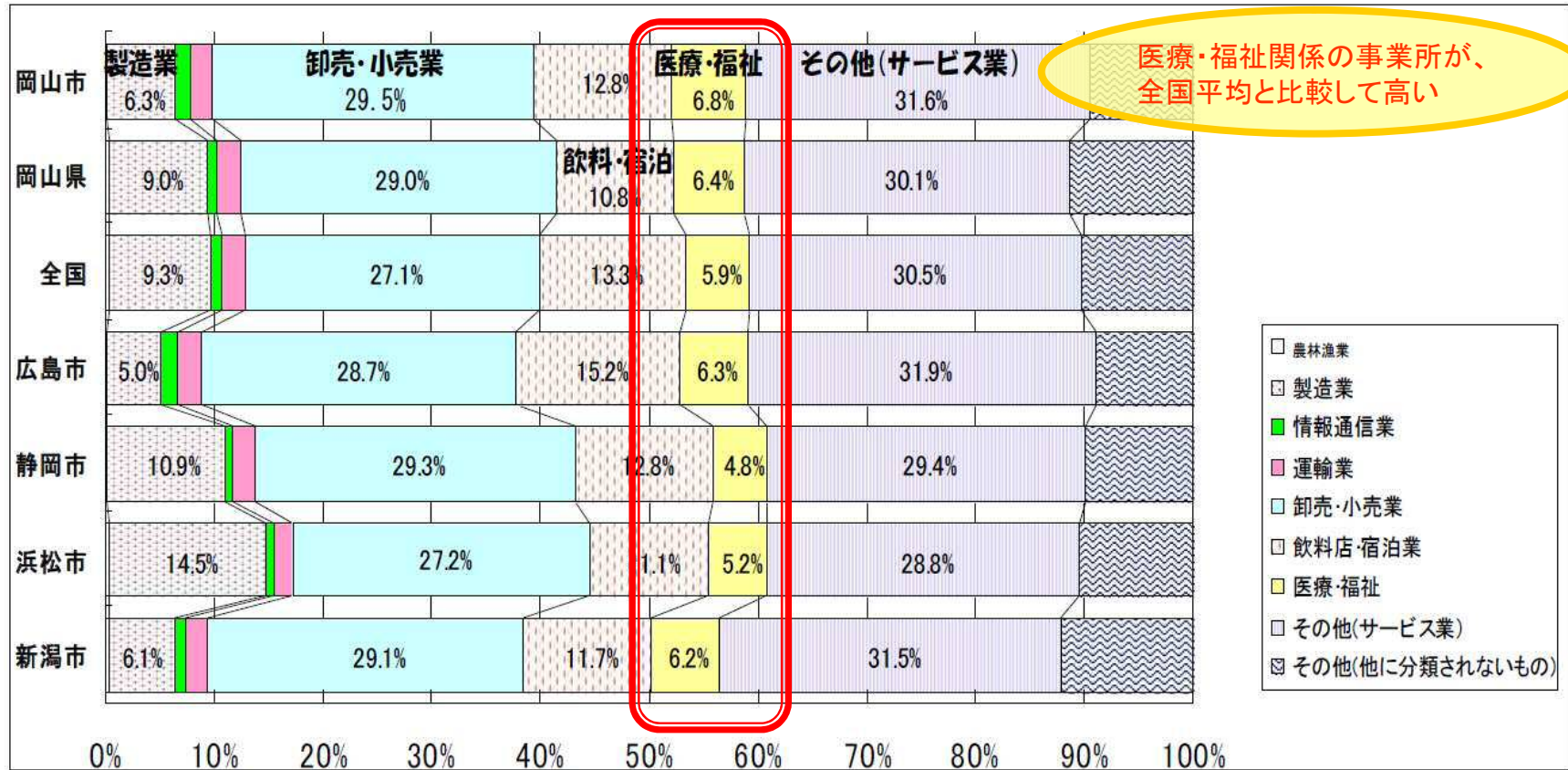
- 高速道路網
山陽自動車道、中国横断自動車道(岡山米子線)、瀬戸中央自動車道
- 鉄道網
JR岡山駅は新幹線を含む8路線が乗り入れ、中四国地方の全ての県都に直通
- 空港
国際5路線、国内3路線の岡山空港
(市内中心部から約25分の距離、地方空港最長の3,000m滑走路)



医療・福祉、学術・研究の分野で 高い都市機能の集積

- 医師数 第2位 (人口10万人あたり)
- 大学生数 第5位 (人口10万人あたり)
- 医療・福祉産業が大幅に増加
事業所数2,050所 伸び率32.3%(平成18年事業所・企業統計調査(総務省))

産業別構成比率（事業所数）



資料：平成 18 年事業所・企業統計調査（総務省）を基に岡山市作成

岡山市は、旧建部町、旧瀬戸町を除き、他市は当時の市域による

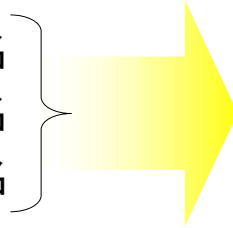
その他（サービス業）とは、金融・保険業、不動産業、教育・学習支援事業、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）の合計

生活環境

地域ボランティアの活動が活発

- 民生委員 1,194名
- 愛育委員 5,416名
- おやこクラブ 4,717名

※平成23年度保健衛生年報などより



- 岡山県は民生委員・愛育委員の発祥の地
- 「こんにちは赤ちゃん事業」などで地域ボランティアが積極的に子育て支援を行っていたり、各種研修会・交流会なども実施

住みやすい生活環境

- 保育所数 第2位 (人口10万人あたり)
- 老人福祉施設数 第1位 (65歳以上人口10万人あたり)
- 文化施設数 第4位 (人口10万人あたり)
- 都市公園面積 第2位 (都市計画区域人口1人あたり)
- 家賃(民営借家)の安さ 第3位
- 平均通勤時間の短さ 第4位
- 百貨店・総合スーパー数 第3位 (人口10万人あたり)

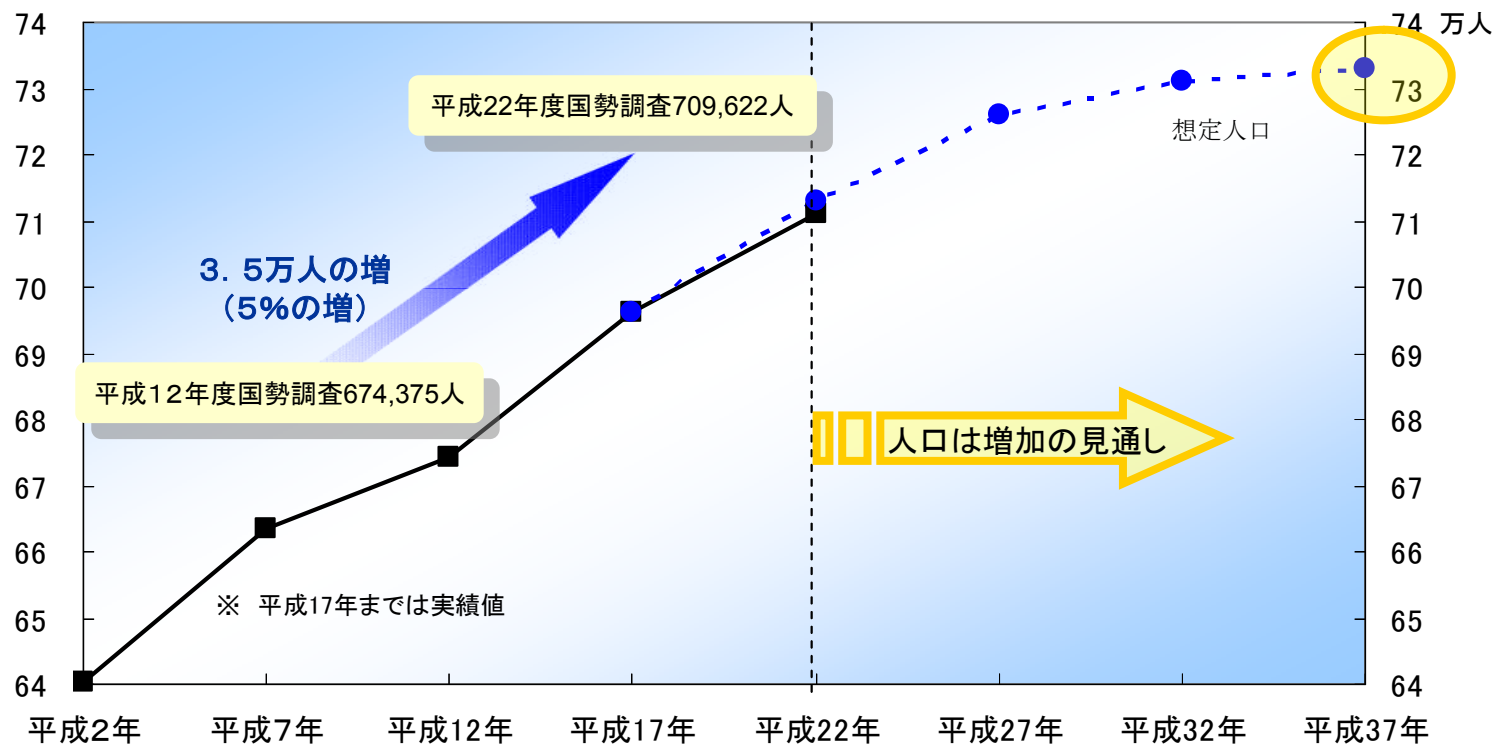
※総務省「公共施設状況調査」、経済産業省「商業統計調査」などによる

政令指定都市で
比較して



将来推計人口

- 平成37年には73万人の見通し
- 平成12年から平成22年までの10年間で3.5万人の増



* 想定人口は、コーホート要因法を用いて算出した推計人口に都市型サービス産業の一層の集積による社会増などを見込み算出したもの

ii 行財政改革

- 行財政改革の目標
- これまでの行財政改革



行財政改革の目標

■ 平成27年度までに財政的・人事的指標を目標水準へ

H17当時、借金総額約7千億円

危機意識から、**行財政改革の断行**に着手!!

長期計画編(H17~28)の目標

短期計画編(H17~20)で改革実施済

新・短期計画編(H21~26)の改革実施中

年 度	H17決算	H22目標値 (決算)	H27目標値 (決算)
経常収支比率	94.1%	-	政令指定都市 上位程度
実質公債費比率	21.2%	16%程度	12%程度
人件費比率	20.6%	18%台	17%台

- H27.4月までの定員管理の目標
- 事業の選択と集中による市債借入額の抑制
- 市民事業仕分けによる改革事項
- 庁内事業仕分けによる取組等

財政効果額の目標は約170億円

行財政改革を引き続き推進し、ムダのない効率的な行政を実現

これまでの行財政改革

- H19年度から3年間の職員採用凍結を断行
- 『行政サービス棚卸し』を実施し、全ての事務事業の必要性を見直し
- 行財政改革にかかる財政効果額 約317億円

短期計画編の取組による財政効果

区分	期間	財政効果額
目標	H17~H21	約200億円
実績	H17~H20	約245億円

事務事業の見直し	29億円
民間活力の積極的活用	8億円
定員及び人事管理の適正化	56億円
給与・手当等の適正化	9億円
経費節減等の財政効果	36億円
市税徴収率の向上	20億円
投資的経費の縮減	87億円

財政効果額を1年前倒しで達成

新・短期計画編の取組による財政効果

区分	期間	財政効果額
目標	H21~H26	約170億円
実績	H21~H22	約72億円

事務事業の見直し	23億円
民間活力の積極的活用	2億円
定員及び人事管理の適正化	11億円
給与・手当等の適正化	16億円
経費節減等の財政効果	20億円

取組内容の見直し等を行い、
改革事項の深化を図る

iii 財政状況

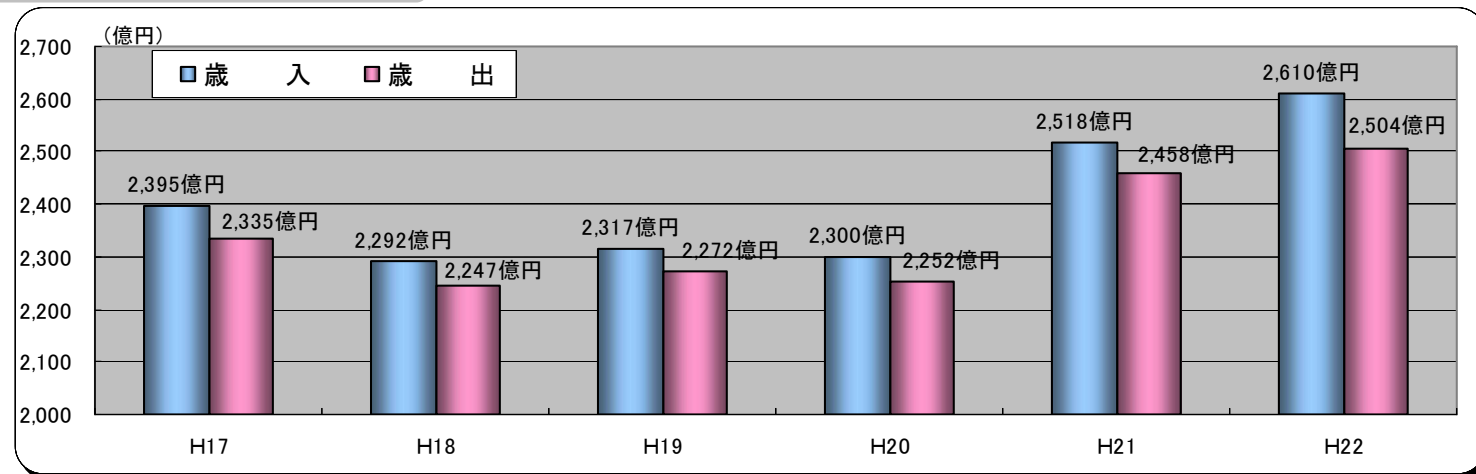
- 平成22年度普通会計決算
- 職員数の削減と適正化
- 市全体の借金
- 財政指標の推移
- 健全化判断比率等は基準をクリア



平成22年度普通会計決算

- H21年度の政令市移行により、決算規模が増加
- H22年度決算では、実質収支が90億円超と過去最大に

歳入歳出決算の推移

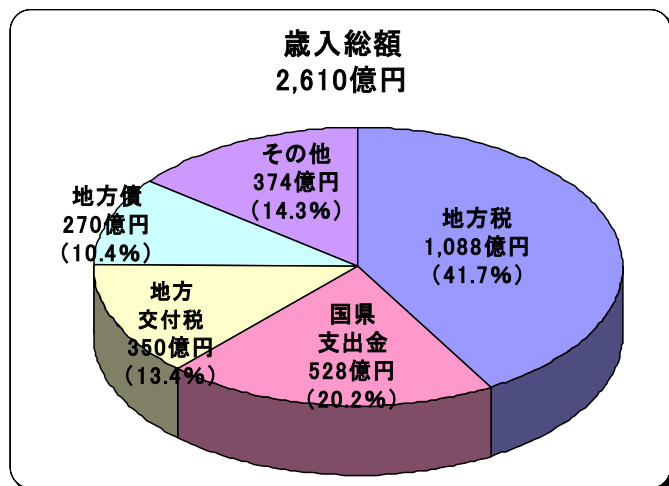


(単位:百万円)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22
歳入	239,493	229,203	231,664	229,990	251,846	261,039
歳出	233,459	224,684	227,238	225,169	245,769	250,364
形式的収支	6,034	4,519	4,426	4,821	6,077	10,675
実質収支	4,867	3,469	3,441	4,165	4,279	9,082

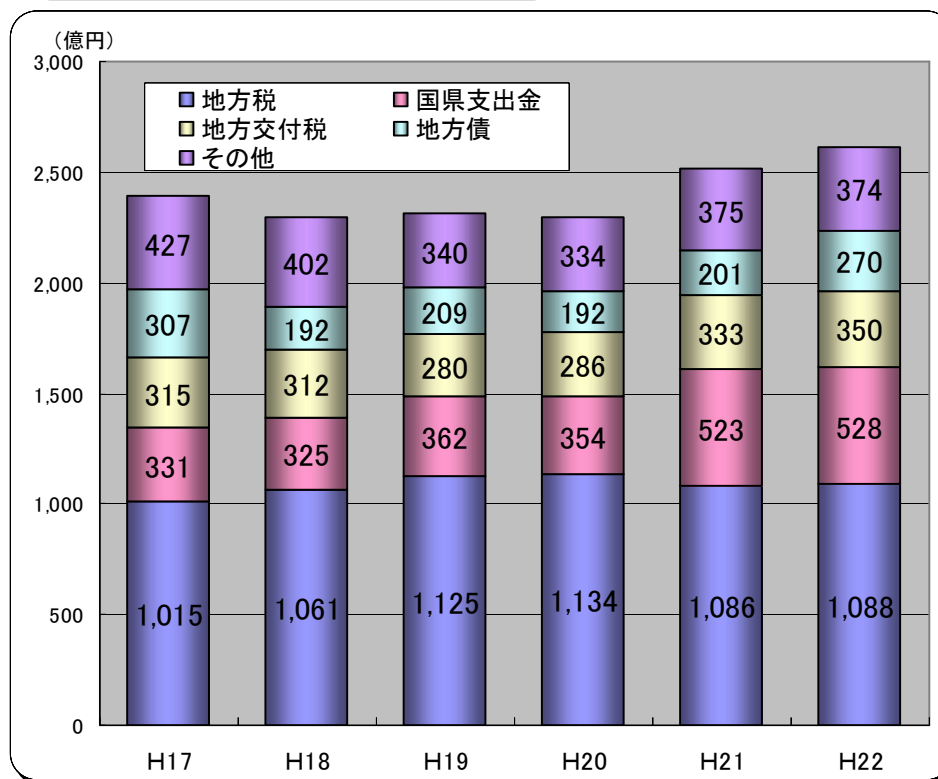
平成22年度普通会計決算(歳入)

■ 地方税収入は1,088億円となり、自主財源比率は49.0%



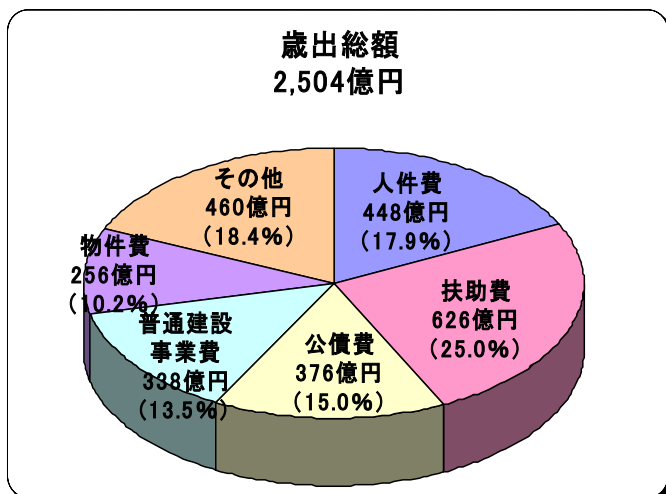
- 地方税は、前年度比0.2%の増（市税徴収率 93.5%→93.8%）
- 地方交付税は、国の別枠加算などにより5.0%の増
- 国県支出金は、定額給付金の減、子ども手当の増などにより0.9%の増
- 地方債は、臨時財政対策債の増などにより、34.4%の増

歳入内訳の推移



平成22年度普通会計決算(歳出)

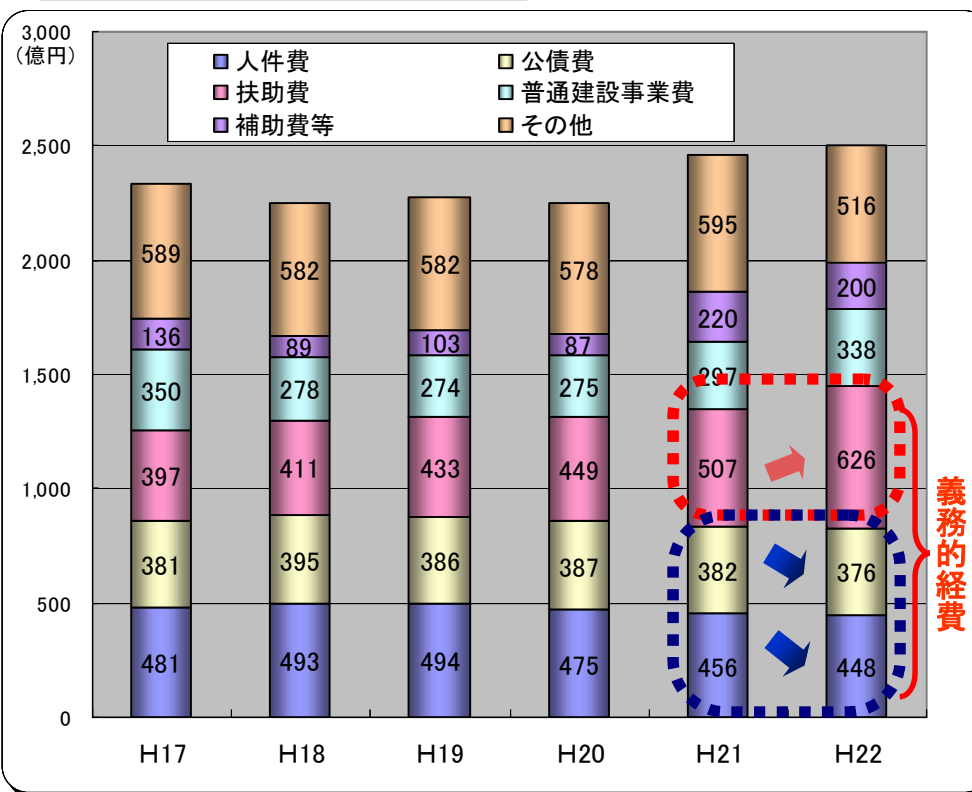
■ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費が全体の57.9%を占める



義務的経費のうち

- 扶助費は、子ども手当や生活保護費等により前年度比23.4%の増
- 人件費および公債費は、行財政改革などの効果により、それぞれ1.8%、1.5%の減

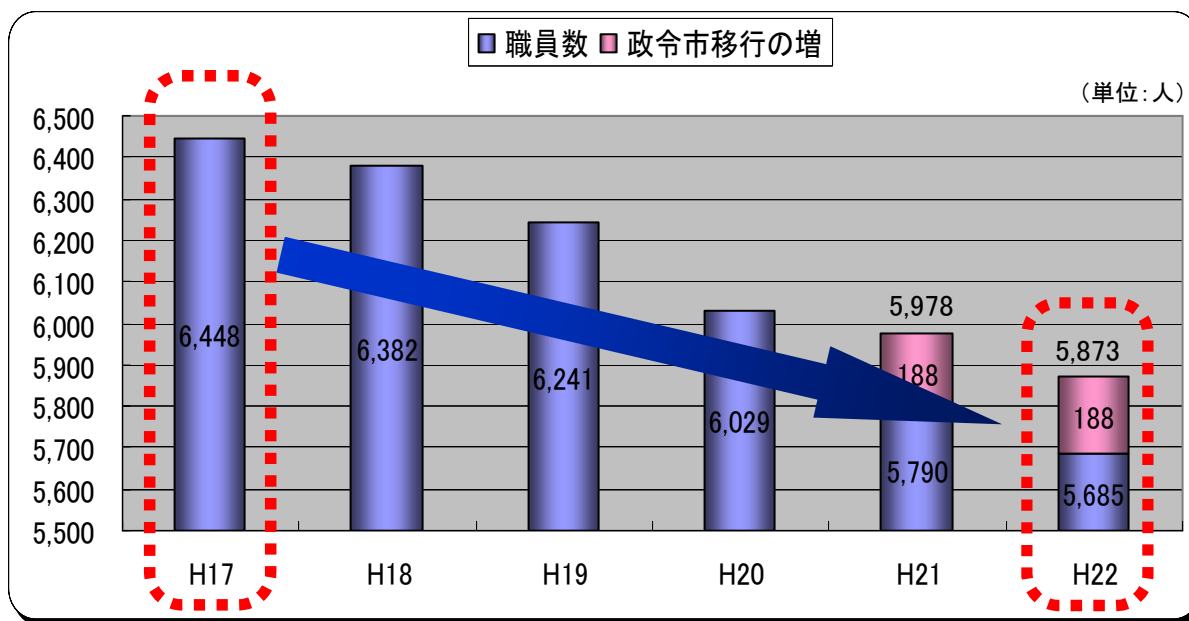
歳出性質別内訳の推移



職員数の削減と適正化

- 職員採用凍結などにより職員数を削減し、人件費総額を抑制

職員数の推移



※職員数は各年度4月1日付の人数

- 職員数の適正化についてH17に策定した集中改革プランでH22.4までに10%削減を目標

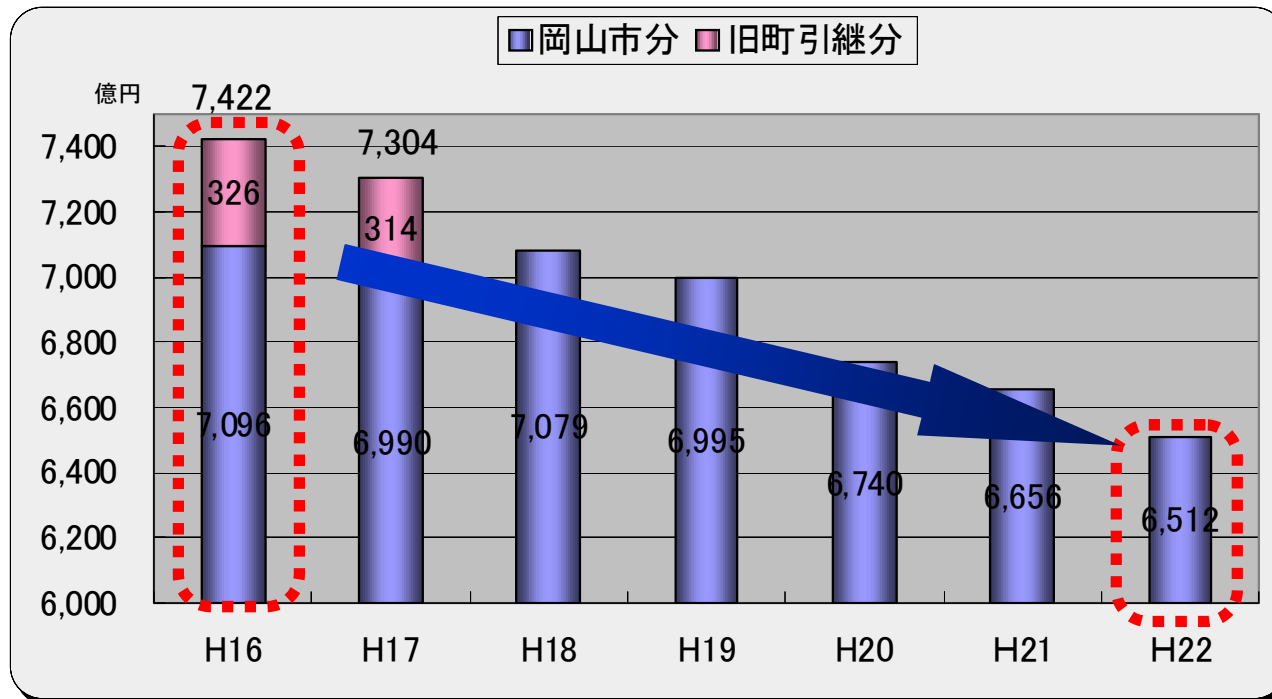
- 政令指定都市移行による権限委譲の換算分188人を除くと**763人** (**11.8%**)の削減

- 今後とも、人事配置の一層の見直しによる効果的・効率的な配置の推進に取り組めます

市全体の借金

- 合併により増加した市全体の借金は行財政改革により大幅減

市債残高及び債務負担行為額の推移



- 借入額の抑制(全額が交付税算入される市債を除き200億円を目途)

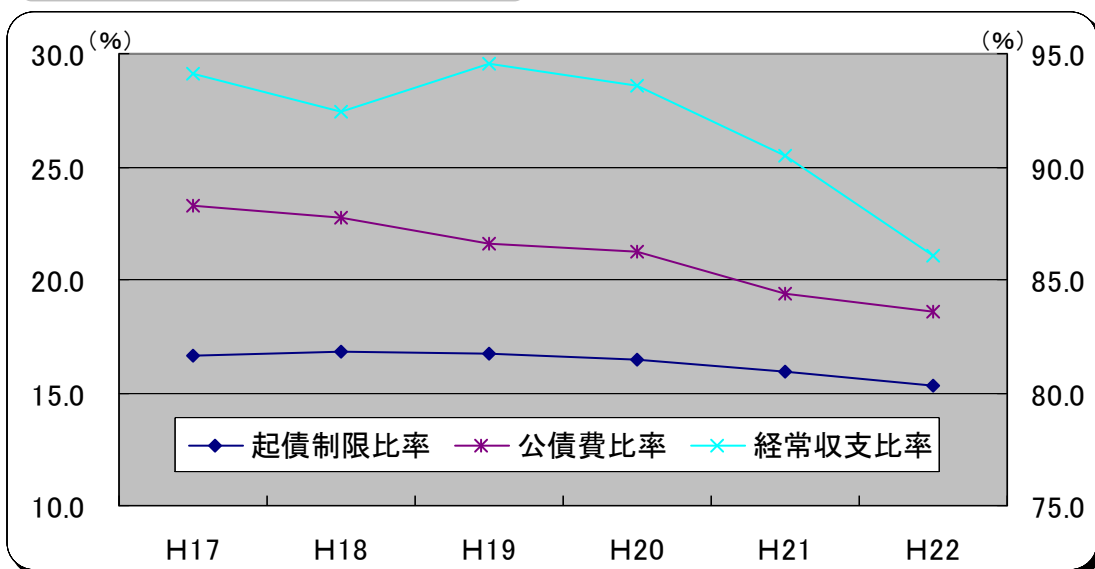
- 土地改良事業の債務負担行為の削減

- 旧岡山市と合併4町から引継いだ借金総額で見ると6年間で**910億円の減少**

財政指標の推移

■ 経常収支比率はH17から8.0ポイント改善し86.1%、政令市トップクラス

各種財政指標の推移



【経常収支比率は改善】

・平成22年度は86.1% (平成21年度90.5%) となり、4.4ポイント改善。

【公債費比率は改善】

・平成22年度は18.6% (平成21年度19.4%) となり、0.8ポイント改善。

【起債制限比率は改善】

・平成22年度は15.3% (平成21年度15.9%) となり、0.6ポイント改善。

行財政改革大綱目標

H27決算 政令指定都市上位程度
(H21決算 政令指定都市 4位)

健全化判断比率等は基準をクリア

- 前年度に引き続き、
実質赤字額、連結実質赤字額はなし
- 実質公債費比率は、
18.0%未満であり協議団体
- 将来負担比率は、市の借金の減など
により前年度比26.7ポイント改善

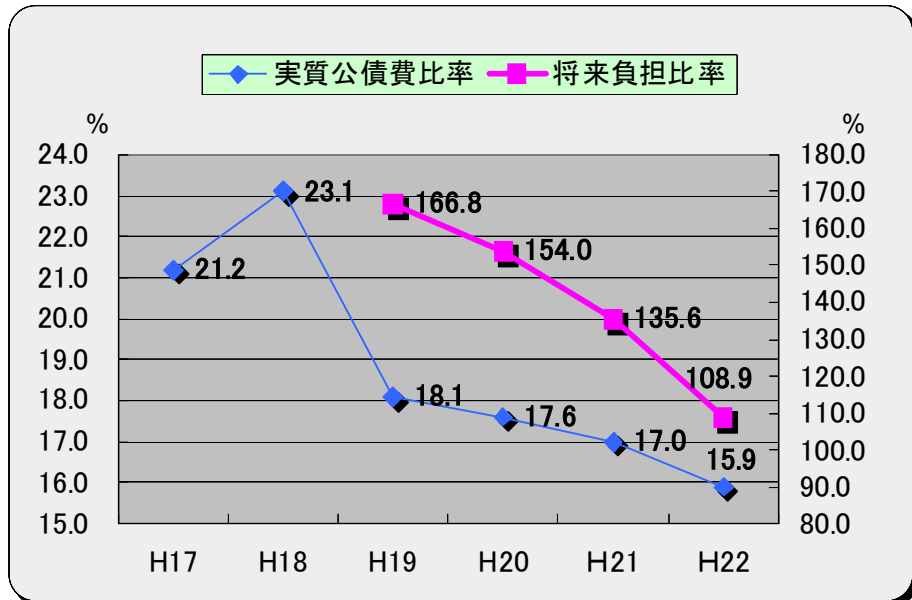
実質公債費比率は、
行財政改革大綱目標(H27決
算12%程度)に向け、改善



【平成22年度決算に基づく岡山市の健全化判断比率と資金不足比率】

指 標		岡山市の 比率	早期健全化 基準	財政再生 基準
健全化判断比率	① 実質赤字比率	—	11.25%	20%
	② 連結実質赤字比率	—	16.25%	35%
	③ 実質公債費比率	15.9%	25%	35%
	④ 将来負担比率	108.9%	400%	
	⑤ 資金不足比率 (公営企業ごと)	—	(経営健全化基準) 20%	

※実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は、「—」を記載しています。



iv めざす都市像

- 都市ビジョン『新・岡山市総合計画』
- 平成23年度一般会計当初予算
- 主要な施策



都市ビジョン『新・岡山市総合計画』

- 都市の形 水と緑が魅せる心豊かな庭園都市
- 都市の使命 中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市

都市の形

水と緑が魅せる 心豊かな 庭園都市



豊かな水と深い緑という岡山の持つ特性をいかし、そこに暮らす人々が美しく心輝いていく都市を創造していきます。

都市の使命

中四国をつなぐ 総合福祉の 拠点都市



高度な医療、先進的な福祉、伝統と厚みのある教育。これを総合化し、さらに力を高め、中四国、さらに西日本圏域の発展とそこに住む人々の幸せに貢献する都市を創造していきます。

7つの柱でめざす
都市像を実現

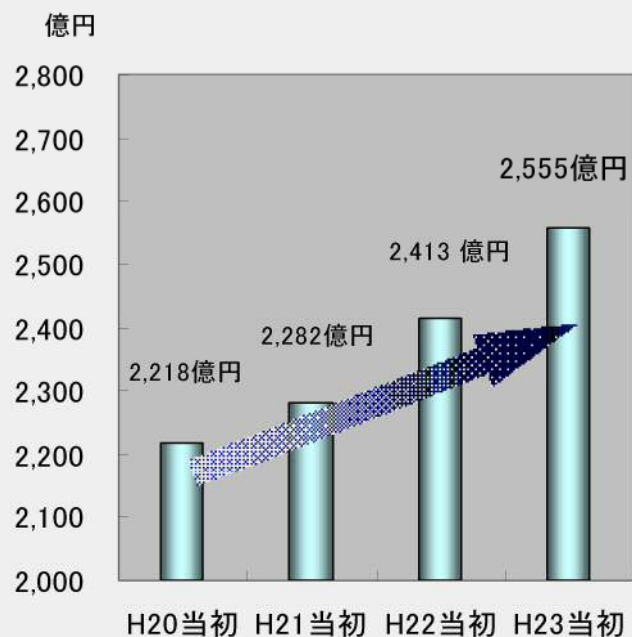
●都市づくりの基本方向●

- ① 多様で豊かな環境をいかす
- ② 街と田園のかたちを明確にする
- ③ 安心していきいきと暮らせる岡山型福祉を組み立てる
- ④ 自立し自己実現できる人間力を育てる
- ⑤ 市民力で新しい岡山をつくる
- ⑥ 岡山の強みをいかした産業を広げる
- ⑦ 文化力で岡山の誇りを高める

平成23年度一般会計当初予算

- 一般会計の当初予算額は2,555億円、5.9%増
- 経済・雇用対策経費や生活保護費、子ども手当などの福祉関係経費を確保するなど、市民生活に配慮

当初予算規模の推移



都市ビジョンに基づいた編成

政令指定都市の強みをいかした「都心のにぎわい創出」のための事業や「若い力を伸ばし、いかした魅力あるまちづくり」のための事業に積極的に対応。

●都心のにぎわい創出

●まちなかのにぎわい創出に向けた取組

都心部において交通・緑化等の都市政策と高齢者対策等の福祉政策の視点を融合させた取り組みを進め、まちなかのにぎわいを創出。

●若い力を伸ばし、いかした魅力あるまちづくり

●岡山の未来を若者たちが語る、若者広場(仮称)

若い世代による意見交換会等を通じ、独自の感性や視点を今後のまちづくりに取り入れる。

●岡東サッカー場(仮称)の整備 (補正予算にて対応)

Jリーグに所属するファジアーノ岡山の練習拠点ともなるサッカー場の整備。

主要な施策

◇西部新拠点(操車場跡地)を都市ビジョンのシンボルの地に...

日常は市民の憩いの場、災害時は防災拠点となる総合公園として整備、「庭園都市」の拠点を整備。

◇(仮称)岡山総合医療センターの実現

全国初となる、岡山大学との連携で24時間365日、誰もが安心して受診できる岡山ER(緊急治療室)や保健・福祉・医療連携機能をもった「(仮称)岡山総合医療センター」を実現。
(仮称)岡山総合医療センターを核とした先進健康長寿総合特区を申請中。

◇安全・安心ネットワークの充実強化

防犯、防災、環境美化、地域福祉、健康づくり、人づくりなどを地域のコミュニティで支え合う安全・安心ネットワークを、地域ICTの活用などによって充実強化。行政と市民の皆さまとの協力関係を深めながら、より効果的なシステムに。

◇まちなかのにぎわい創出に向けた取組

都心部において交通・緑化等の都市政策と高齢者対策等の福祉政策の視点を融合させた取組を進め、まちなかのにぎわいを創出。

◇産業振興・農業振興

「産業振興ビジョン」「農業振興ビジョン」に基づき、地域の強みをいかした底力と競争力のある都市を目指す。

◇環境先進都市を世界にアピール

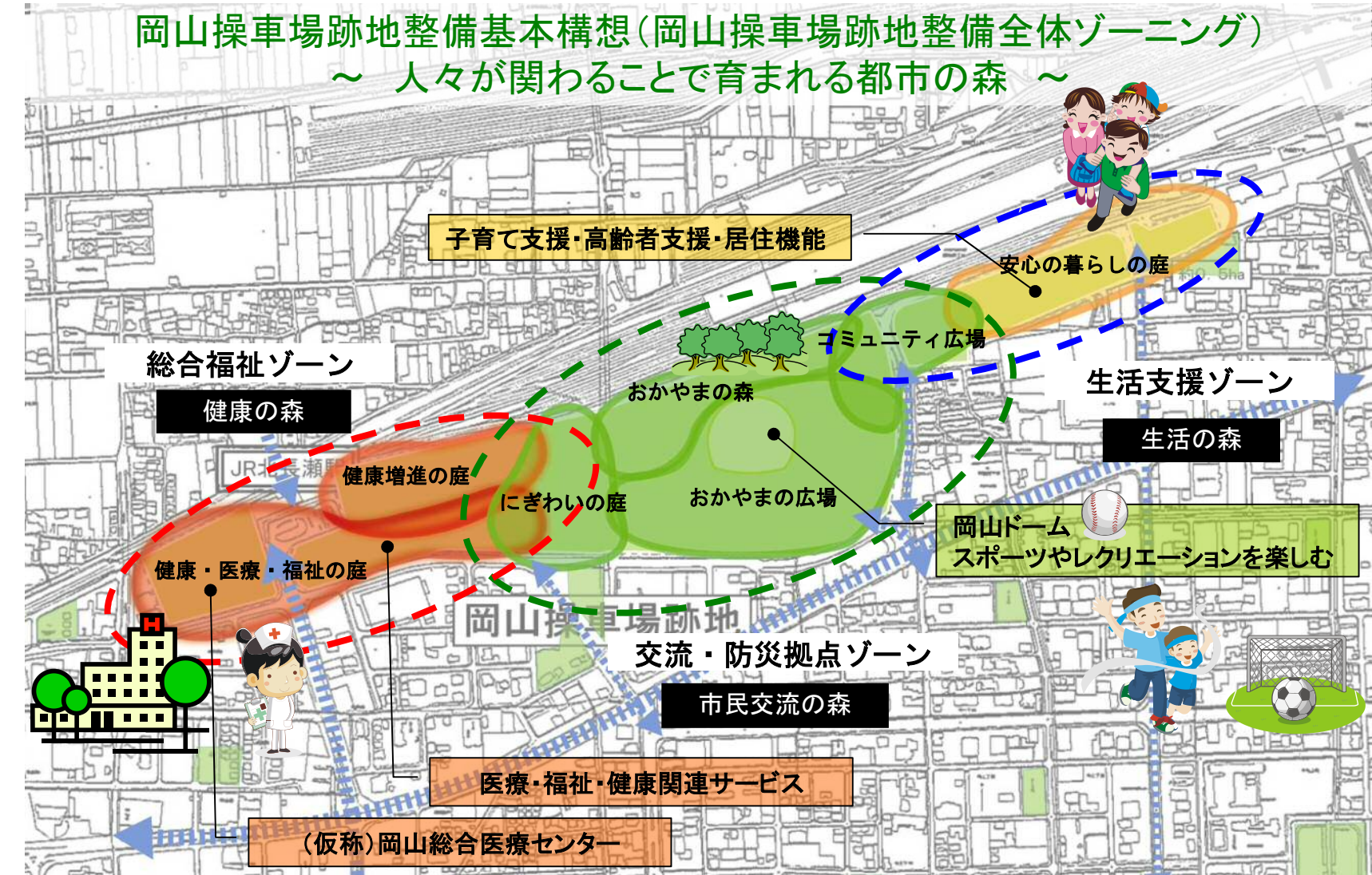
太陽光発電をはじめ、自転車利用促進などの施策を加速させ、世界にアピール。平成26年秋に開催される「国連ESD(持続可能な開発のための教育)の10年」最終年会合に向け、総力を挙げて取り組む。

◇コンベンションシティの体制整備

広域交通の拠点性と、医療・福祉分野の機能集積などをいかしてコンベンションを誘致。

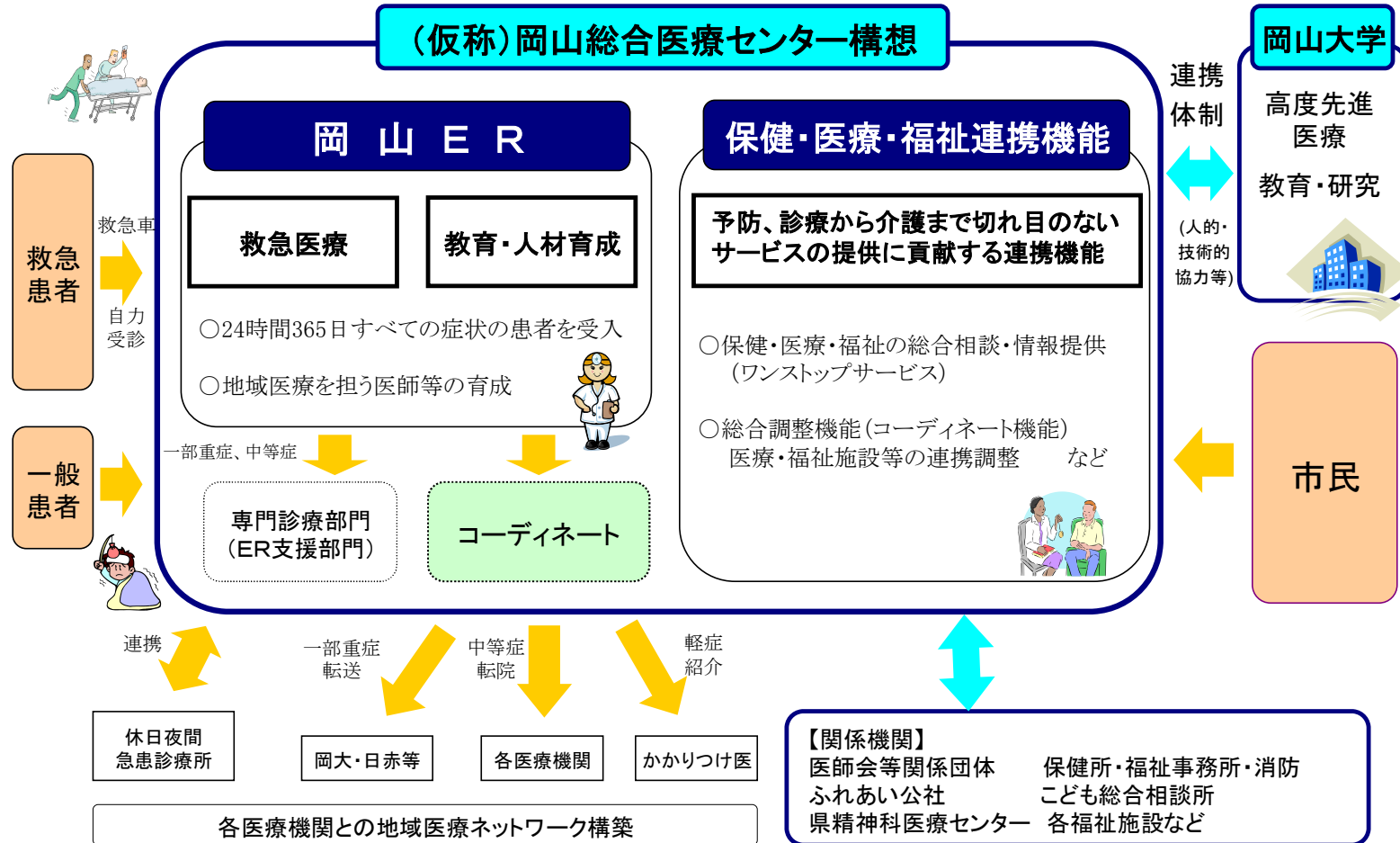
主要な施策①

岡山操車場跡地整備基本構想(岡山操車場跡地整備全体ゾーニング)
～ 人々が関わることで育まれる都市の森 ～



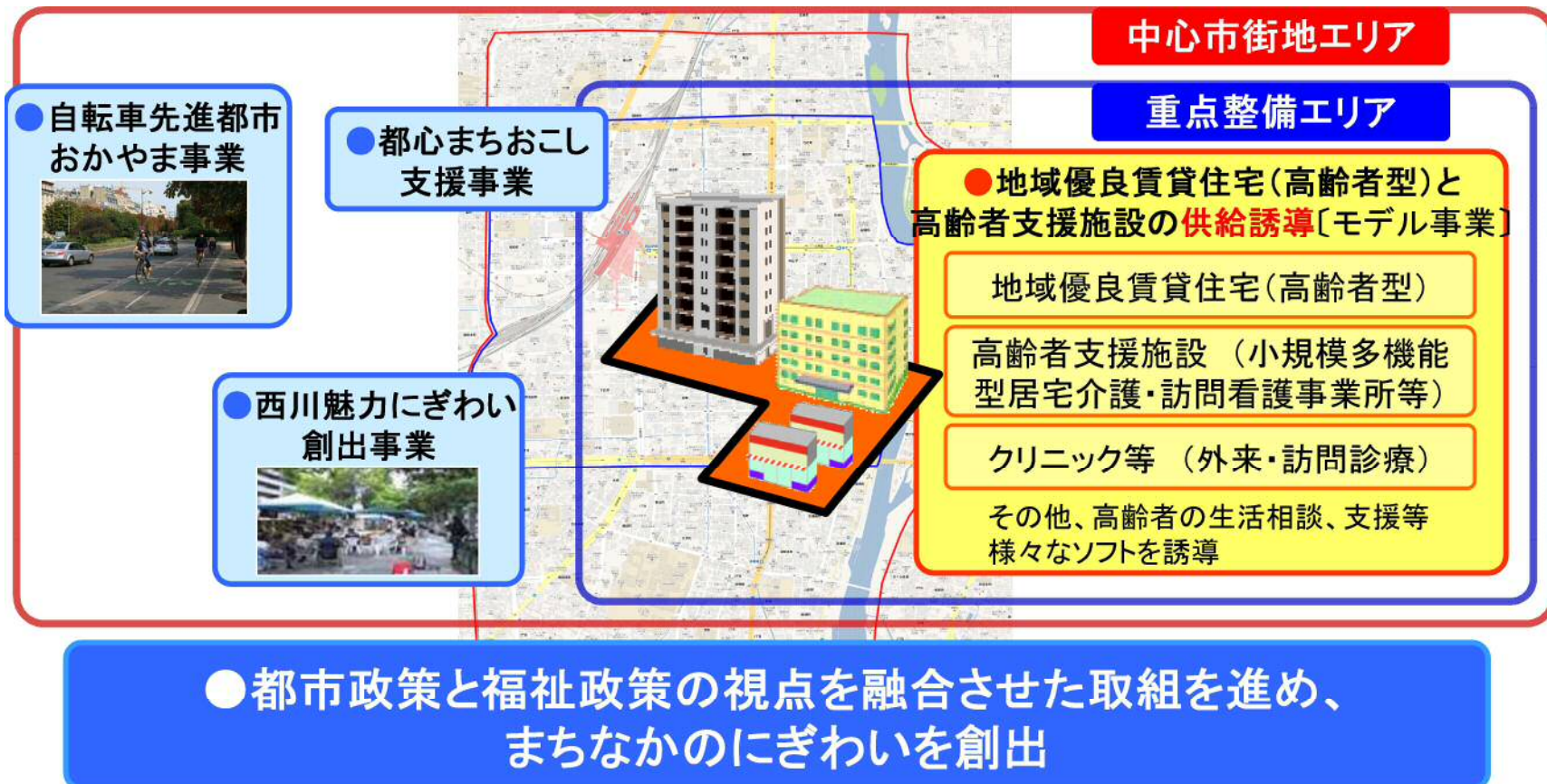
主要な施策②

(仮称)岡山総合医療センター構想のイメージ



主要な施策③

■ まちなかのにぎわい創出に向けた取組



主要な施策④

■産業振興ビジョン(平成23～37年度)

地域の強みをいかした底力と競争力ある産業が集積する都市「おかやま」をめざす

■めざす4つの将来像

- ① 魅力的な商業空間が織りなすにぎわいのある都市 ⇒ 商店街の活性化、まちづくり活動の促進など
- ② アジアなど海外とのグローバルな競争に打ち勝つ力強い産業が集積する都市
⇒ 医療、健康・福祉関連産業育成、食品関連産業分野の育成 など
- ③ 地域社会の課題に対応し、地域と共存共栄する産業が集積する都市 ⇒ 地域の中小企業団体への支援及び連携強化、都市型サービス産業の立地の推進 など
- ④ 旺盛なチャレンジマインドが根付き、次々と起業や新事業が生まれる都市 ⇒ 創業支援の強化、時代を担う新しい産業の育成 など

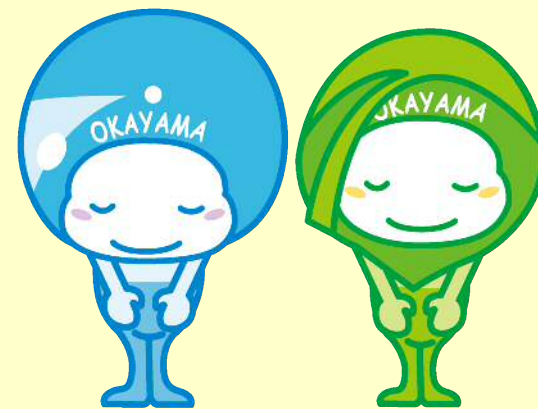
■平成23年度の主な取り組み

都市型サービス産業推進事業：雇用創出効果が期待される都市型サービス産業(コールセンター等)の立地を図ることにより、雇用の創出と中心市街地の賑わいづくりに繋げる。

工業立地法に基づく緑地面積率等の緩和：緑地面積率等の緩和を行う地域準則条例を制定し、工業地域・工業専用地域の工場の新設、増設等を促進する。

v 市債発行の方針

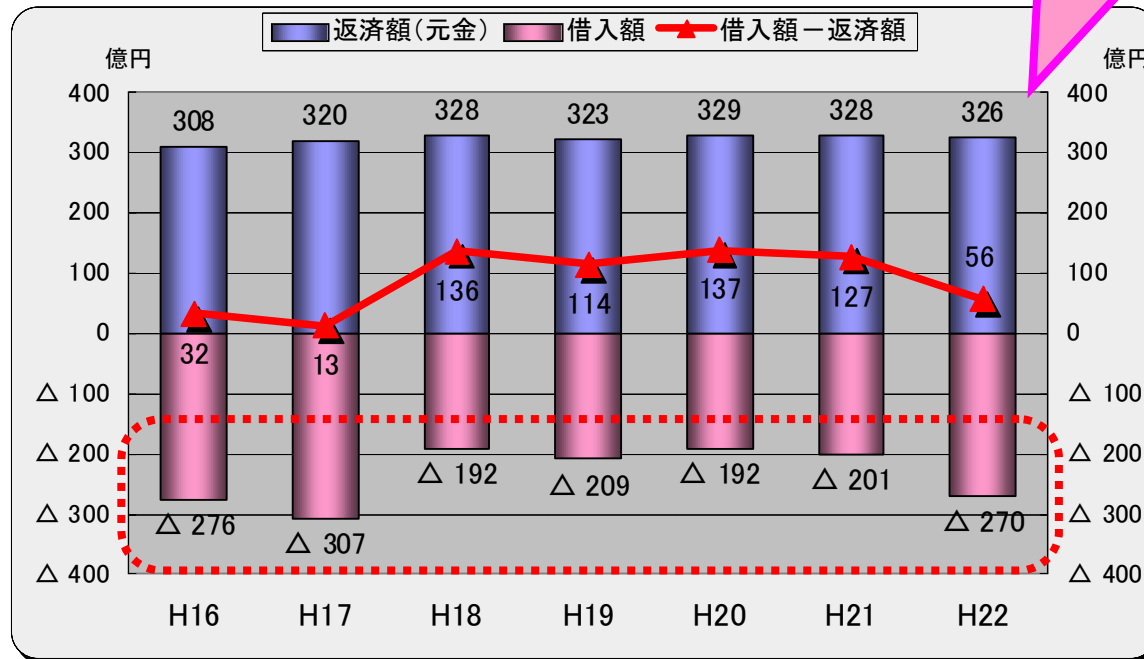
- 今後の起債運営
- 市場公募地方債の発行



今後の起債運営

- 平成18年度以降は市債の借入額を大幅に抑制
- 政令指定都市移行による事業規模の拡大後も、借入額を抑制予定

市債の借入額と返済額の推移(普通会計)



借入額<元金返済額
市債残高は減少

借入額の抑制

- ◇元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた借入額を200億円程度に抑制
- ◇実質公債費比率は、平成27年度決算で12%程度を目標に起債管理

公債費特別会計の設置

- ◇平成21年度より公債費の経理を明確にするため特別会計を設置

市場公募地方債の発行

■ 平成21年度発行実績

- 起債銘柄
平成21年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行日
平成22年1月29日
- 発行総額
100億円
- 償還年限
10年(満期一括償還)
- 活用事業
臨時財政対策債等

■ 平成22年度発行実績

- 起債銘柄
平成22年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行時期
平成23年1月31日
- 発行総額
100億円
- 償還年限
10年(満期一括償還)
- 活用事業
臨時財政対策債等

■ 平成23年度発行予定

- 起債銘柄
平成23年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行時期
平成24年1月
- 発行総額
100億円
- 償還年限
10年(満期一括償還)
- 活用事業
臨時財政対策債

次年度以降も、
よろしくお願いします。



岡山市の未来へ向けて

■安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします

■都市ビジョン実現のための財源は
行財政改革の断行により確保します

■10年先、20年先を見据えて、突発的な危機へも
対応できる強固な財政基盤を構築します

■中長期にわたる健全財政の維持のための
計画的な財政運営をします

お問い合わせ

岡山市 財政局 財政課

〒700-8544 岡山市北区大供1丁目1番1号

Tel 086-803-1146

Fax 086-803-1735

E-mail zaiseika@city.okayama.jp

URL <http://www.city.okayama.jp/zaisei/zaisei/index.html>